

科目名	卒業演習 「子育て子育て支援～地域・保護者・子ども・学生それぞれの“育ちあい”を考える～」		担当教員	石井章仁		
			担当形態	単独		
テキスト	「子育て支援実践演習」萌文書林 2017	単位数 授業形態	2単位	演習	開講時期	後期
<p>講義概要</p> <p>■到達目標</p> <p>本科目は、地域で子育てをする全ての家庭に向けた「子育ての支援」のあり方や「組織における自身の良さの発揮」について「計画～実践～評価～改善（PDCA）」の過程から、学ぶことを第1の目的としています。また、自身のこれまでの実習体験やフィールドでの学びと連動させ、良さや課題を発見する目的も持っています。</p> <p>前期は、主に実習の振り返りと良さと課題の発見に主軸を置き、後期には月2～3回、実際に子育て広場を運営していきます。子育て広場の運営に当たっては、育ちあいのひろばたいむで、スタッフに代わって運営を行いたいと考えています。また、その活動をまとめ、「卒業レポート」の作成を課題とします。</p> <p>■授業の概要</p> <p>保育士の職務は、保護者に代わって子どもを保育する他に、保護者へ育児に関する支援をすることも含まれます。子どもが地域や家庭で豊かに生活することを支援するためには、保護者を決して否定せず、共に成長を喜びながら、保護者自身や家庭に対する個別の援助、集団の援助、地域の子育て家庭への援助を行う必要があります。そのためには、まず、自身が心を開き、人とかかわり、共に学びあい育ち合う必要があります。それをゼミで体験する事から考えていきましょう。</p> <p><後期></p> <p>①計10回 学内の子育て広場「育ちあいのひろばたいむ」において、学生主体で運営を行います。広場を運営（10：00-16：00）しながら、それぞれの良さを伸ばし、課題をカバーしていきます。「計画・実践・評価・改善」の過程を意識し、仲間と「共に働く集団」を組織し、子どもや保護者とかかわりを持ちながら、自身の育ちを確認していきます。</p> <p>②自身の実践や実習とのつながりを意識しながら、卒業レポートを作成します。</p> <p>■授業計画</p> <p><後期></p> <p>第1回 子育て広場を創る第1回（計画） 第2回 子育て広場を創る第1回（実践） 第3回 子育て広場を創る第1回（評価と改善・第2回計画） 第4回 子育て広場を創る第2回（実践） 第5回 子育て広場を創る第2回（振り返り） 第6回 子育て広場を創る第2回（評価と改善・第3回計画） 第7回 子育て広場を創る第3回（実践） 第8回 子育て広場を創る第3回（振り返り） 第9回 子育て広場を創る第3回（評価と改善・第4回計画） 第10回 子育て広場を創る第4回（実践） 第11回 子育て広場を創る第4回（振り返り） 第12回 子育て広場を創る第4回（評価と改善） 第13回 広場の運営とまとめレポートの作成① 第14回 広場の運営とまとめレポートの作成② 第15回 学びの成果発表会での発表</p> <p>■準備学習</p> <p>授業時間外に以下の取り組みを行うことがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営に関する準備等。 ・活動ごとにレポートを作成する ・希望があればゼミ合宿等の集中的な学びの機会。 <p>■評価方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動への参加 — 55% ・まとめのレポート — 45% 						
参考文献	追って指示する。		特記事項	・設定された授業時間内にとどまらず、授業日は終日予定を空けておくようにして下さい。特にたいむでの活動は、オープン(朝)からクローズ(夕)までの活動を行うこととなりますので、意欲のある方が望ましいです。 ・また、ご自身のテーマに関わらず、「実践者」としての自分を高めたいと思う方も歓迎します。 【課題等のフィードバック方法】 ・レポートの添削・指導を行う。		
卒業・免許状・資格との関連	卒業必修		幼			
			保			